

Chapter

02

STUDY PLAN-14G 入学生

01.履修申請	021
02.成績表の見方	026
03.卒業要件単位数(外国人留学生も共通)	027
04.卒業研究	030
05.卒業見込証明書	030
06.資格取得	031
07.飛び級制度	032
08.カリキュラム	033

01. 履修申請

- ・「履修申請」とは、自分が受けたい授業科目を申込むことです。
- ・「履修申請」は、本年度の学習方針を決定するだけでなく、次年度以降の履修にも影響しますので、履修制限等をよく読んで上で、自分の時間割の計画を立てて申請してください。
- ・大学では必修科目等を除いて、一定の枠の中から受けたい科目を選択できるようになっています。
- ・申請期限までに所定の手続きを行わなかったり、間違ったりすると、授業に出席して、試験を受けても単位が認められませんので、慎重に行ってください。
- ・申請の手順については、別に配布するWeb履修申請ガイドブックをご覧ください。

(1) 履修計画における注意点

- ①履修する科目を選ぶために、事前に「Webシラバス」をよく読んでください。
- ②各時間帯に開講されている授業科目の中から自分が受けたい科目を選び、選んだ科目を各自で履修申請してください。学生1人1人の時間割の内容は、同じ学部・学科であっても違ったものになります。
- ③同じ学部・学科でも、コースによって選択すべき科目が異なります。各コースの履修要件、卒業要件をよく読んで履修計画を立ててください。
- ④卒業資格最低単位数(卒業要件単位数)を充足できるよう重点をおいてください。
- ⑤申請する前に、学籍番号などによって指定されているクラス等を確認してください。
- ⑥各ガイダンスには必ず参加してください。
- ⑦既に単位認定を受けた科目を、再度履修することはできません。

(2) 専門教育科目

1年次から各年次ごとに実験、実習、演習が開講されています。これらの科目は、2～3時限連続で開講されるものもあります。配当年次で修得できないと、次年度の必修科目と重複する場合がありますので注意してください。

(3) 手続方法

① 履修計画を立てる

配付資料に基づき履修計画を立て、Web履修申請ガイドブック巻末にある「時間割下書き用紙」に記入します。また、履修したい講義がクラス登録科目である場合には、同じく巻末にある「クラス登録応募下書き用紙」に記入します。講義科目の中には、学籍番号や学年により履修が制限されているもの、履修する講義が予め指定されているもの、抽選により履修者を決定するもの、プレースメントテストの結果により履修指示が為されるもの等、さまざまなタイプがあります。これらの情報は、講義時間割の備考欄等に記載されています。

② 登録手続き（3つの期間（順序）に分けて行う）

a. クラス登録科目応募（総合教育科目）

- ・抽選により履修者を決定するタイプの科目は、履修申請に先立ち応募受付を行い、抽選処理を行います。抽選の結果、当選した場合に限り履修することができます。なお、当選した講義（クラス）は履修を取り消すことができません。詳細は、web履修申請ガイドブック巻末の「クラス登録応募下書き用紙」をご覧ください。
- ・抽選結果が二級整備士科目（専門教育科目）の開講クラスと重複する場合、総合教育科目が優先され、二級整備士科目は履修できません。（2年次以上の進級時に応募するとき注意すること）

b. 本申請

履修計画（下書きした時間割）に基づいて、コンピュータを操作し講義を登録してください。申請画面を開くと履修可能な講義が表示されています。（内容は学生ごとに異なります。本申請期間内なら何でも登録内容を変更することができます。）なお、抽選により受講を許可された講義と既決履修講義が表示されています。これらの講義は、取り消すことができません。

登録が完了したら内容を印刷し、保管しておいてください。

c. 修正

登録した講義を修正（追加、削除）することができます。但し、抽選により履修が決定した講義、既決履修講義は取消できません。修正が完了したら、必ず登録内容を印刷してください。

【クラス登録の要領について】

- ・講義時間割の科目名左側に「●」「○」「◎」印がある講義の履修を希望する場合は、本申請に先立ちクラス登録が必要です。
- ・クラス登録は、応募受付⇒抽選⇒発表（本申請時には、当選した科目が画面に自動表示されています。）の順で行われます。
- ・当選した講義はキャンセルすることができません。また、はずれた方は、本申請期間または修正期間に残席がある場合に限り先着順で登録できます。

③ 言語文化科目

- ・担当教員は、後日掲示でお知らせします。決定した担当教員のクラスで履修申請をしてください。
- ・TOEICクラスの受講は、事前に実施した学力テストの基準に達した学生に限ります。
- ・第1希望にもれた場合は、同一曜日・時限の別のクラスに割当てられることがあります。
- ・新入生の英語については、プレースメントテストの結果発表に従って履修申請してください。

④ 身体科学科目

- ・再履修者は、再クラスでの登録となります。
- ・リハビリコースクラスは、怪我などで運動に制限がある学生が対象となります。
- ・体育研究室からの注意事項は次の通りです。

〈体育研究室からのお願い〉

受講時の注意

- ① 出欠席を厳しくとります。身体科学科目が半期科目（前期で終了または後期で終了）の場合は、半年に3回までの欠席は認めますが、4回以上欠席した学生は不合格となり単位は認定されません。
- ② 「スポーツ科学」や「運動科学」は、講義日の3/4以上の出席が必要です。
- ③ 「スポーツ科学実習」について
 - ・服装は、運動服であれば高校で使用したもので差し支えありません。
 - ・運動服には、白い布に学籍番号と氏名を書いて左腕と右尻に縫い付けてください。
 - ・体育館内のコースを受講する学生は、運動靴に赤線を入れて室内専用に使ってください。
 - ・テニスコースを受講する学生は、テニスシューズを使用してください。
 - ・ロッカー使用の場合には、各自指定番号の鍵を使用し、授業時間ごとに借り出し、授業終了後ただちに返却してください。
- ④ 本科目の受講の指示は掲示で行いますから、体育館の掲示板を見るよう心掛けてください。
- ⑤ 前・後期両方とも同じ種目を取らないようにしてください。ただし、抽選で前・後期とも同じ種目になった場合は受講してください。
- ⑥ 「ボウリング」、「ゴルフ」については、ゲーム代等別途費用がかかります。

(4) 自由科目

他学部（自分の所属する学部以外）および他学科（自分の所属する学科以外）の専門教育科目（人間環境学部は展開科目）を、卒業までに20単位まで履修することができます。そのうち4単位までを、専門教育科目の選択科目として、卒業要件単位に算入することができます。（これを「自由科目」と称します。）ただし、履修の認められない科目がありますので、下表で確認してください。

自由科目を履修したい人は、Webシラバスを熟読のうえ選択してください。

自由科目は、Web履修申請画面で確認できる（表示されている）科目から選択してください。

交通機械工学科

他学部	他学科	卒業要件に認められる単位	自由科目として扱わない科目
人間環境	文化コミュニケーション、生活環境、スポーツ健康	4単位	製図、演習、実験、実習、外国書講読、セミナー、卒業研究 ※その他各学科の事情等により除外する科目
経営	経営、商		
経済	経済、国際経済		
デザイン工	情報システム、建築・環境デザイン		
—	機械工、都市創造工、電子情報通信工		

(5) 履修制限

交通機械工学科には以下の履修制限がありますので、注意してください。

14G学生に適用

1年間に履修できる単位数	最大50単位(教職に関する専門教育科目を除く)	
学年による科目の制限	1年次:1年次配当科目を履修することができます。 2年次:1,2年次配当科目を履修することができます。 3年次:1~3年次配当科目を履修することができます。 4年次:すべての開講科目を履修することができます。	
実践教育科目	卒業までに卒業要件4単位以上を修得し、総合教育科目(20単位以上)、専門教育科目(92単位以上)と合わせて124単位以上修得してください。	
総合教育科目	卒業までに卒業要件20単位以上を修得し、実践教育科目(4単位以上)、専門教育科目(92単位以上)と合わせて124単位以上修得してください。ただし、3年次修了時までには卒業要件16単位以上を修得しなければ、次年度「卒業研究」を履修することはできません。	
	教養教育科目	■留学生は、「日本事情1」、「日本事情2」、「日本の社会と文化1」、「日本の社会と文化2」の4科目8単位を必修とします。
	言語文化科目	■卒業要件単位は、8単位以上(うち英語の卒業要件単位を4単位以上)とします。(英語のみも可)(留学生除く) ①英語は入学初年度に限り、プレイスメントテストの結果により習熟度別クラスに分けます。 ■初修外国語(ドイツ語、フランス語、中国語)を履修する場合は、必ず「入門1」から履修してください。 ■留学生は、 ①母語を履修することはできません。 ②日本語8単位を必修とします。
専門教育科目	■プレイスメントテストは「数学」と「物理」を受験して下さい。また、「化学」を履修する者は、年次に関係なく当該年度に実施されるプレイスメントテストをあらかじめ受験しなければなりません。 ■卒業までに卒業要件92単位以上を修得し、実践教育科目(4単位以上)、総合教育科目(20単位以上)と合わせて124単位以上を修得してください。	
その他	既に単位認定を受けた科目を、再度履修することはできません。	

コース制について

- (1) 交通機械工学科には、自動車工学コース、鉄道工学コースおよび交通機械コースがあります。
- (2) 入学年度初めの履修申請時にコース選択を行います(鉄道工学コースは除く)。以後の履修コース変更は、申請に基づき、以下の通り行います。
 - ①自動車工学コースから鉄道工学コースへの変更は、審査を経て1年次から2年次への進級時に限り認める。
 - ②自動車工学コースから交通機械コースへの変更を認める。その時期は毎学年初めの履修申請時とする。
 - ③鉄道工学コースから交通機械コースへの変更に限り認める。その時期は毎学年初めの履修申請時とする。
 - ④鉄道工学コースから自動車工学コースへの変更は認めない。
 - ⑤交通機械コースから他のコースへの変更は認めない。
- (3) 鉄道工学コースの学生で、履修コース変更前に修得した単位は、選択科目として卒業要件単位に算入することができます。
- (4) 交通機械コースの学生で、履修コース変更前に修得した単位は、選択科目として卒業要件単位に算入することができます。
- (5) 自動車工学コースの卒業者に限り、国土交通省の定める二級自動車整備士養成施設での課程を修了したものととして、「修了証明書」を発行します。

02. 成績表の見方

- ・発表される「成績表」は、当該年度の前期末または学年末までの成績です。
- ・単位左側の文字の「必」は必修科目、「選必」は選択必修科目、「選」は選択科目を表わします。
- ・成績欄右寄りの評価は「今年度の成績」、中央の評価は「昨年度までの成績」を表わします。
- ・評価・認定は、「S」「A」「B」「C」「D」「T」で判定します。

修得単位数欄

卒業要件単位数	卒業に必要な単位数
修得卒業要件単位数	現在修得している全ての単位のうち卒業要件としてカウントされた単位数
修得総単位数	現在修得している全ての単位数

進級・卒業判定欄

1年次	2年次	3年次	4年次	卒業	4留
1年	2年	3年	4年	卒業できる	卒業延期

来年度欄 (3年生以上)

卒見証発行	有	無	
	卒業見込証明書発行可	卒業見込証明書発行不可	
卒研資格	有	無	済
	卒業研究履修資格有	卒業研究履修資格無	卒業研究修得済

※ 卒業研究の有資格者に卒業見込証明書を発行します。

- ・卒業研究履修資格欄 (3年生以上)

学年末に発表する成績表には、次年度の「卒業研究」履修の可否が表示されます。

03. 卒業要件単位数（外国人留学生も共通）

卒業するためには、以下の2つの条件を満たさなければなりません。

①4年間（編入生は2年間）以上在学

休学期間は在学年数に含まれません。したがって、半期でも休学すると4年（編入生は2年）で卒業することができません。

②学科で定められた卒業要件単位数124単位数以上（編入生は別途定める）を修得

カリキュラム上、区分ごとに卒業に必要な単位数が異なります。履修の仕方によっては単位を修得しても卒業要件単位に入らない場合がありますので、注意してください。

（1）卒業要件単位数

実践教育科目		4単位以上		20 単 位 以 上	124 単 位	学 士 （ 工 学）	
総 合 教 育 科 目	教養教育科目	教養入門ゼミ	要件なし				
		人文科学	要件なし				
		社会科学	要件なし				
		自然科学	要件なし				
		学際領域	要件なし				
		(日本事情1・2)	} (留学生に限る。) 8単位				
	(日本の社会と文化1・2)						
	言語文化科目	英語	4単位以上				} 8単位以上
		初修外国語	(留学生に限る。) 8単位				
		日本語					
身体科学科目	要件なし						
専門教育科目		必修および選択科目の単位をあわせて、92単位以上 (自由科目4単位を含む。)					
4年以上在学							

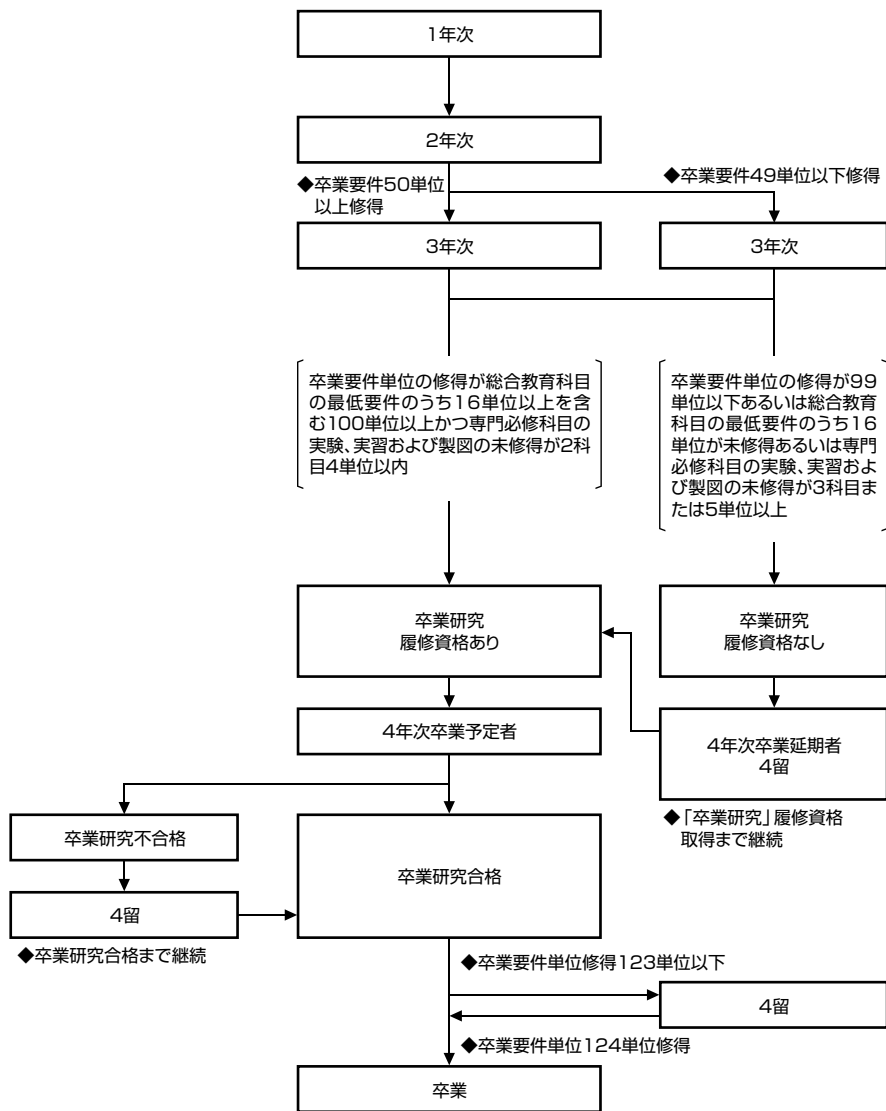
注) 留学生は、教養教育科目分野の「日本事情1」「日本事情2」「日本の社会と文化1」「日本の社会と文化2」および言語文化科目分野の日本語を必修とする。

(2) 進級の条件

修得単位数にかかわらず、4年次まで進級できますが、3年次修了時点で卒業研究履修資格の条件を満たしていなければ、4年間で卒業できなくなります。また、進級するためには、1年を通じて在学していなければなりません。

なお、1年間で最大50単位の履修制限がありますので、計画的に修学してください。

— 進級および卒業までの流れ —



(3) 卒業要件単位の履修要件

【実践教育科目】4単位以上

実践教育科目区分から4単位以上を修得してください。

【総合教育科目】20単位以上

①**必修科目**※留学生のみ(卒業するまでに必ず修得します。カリキュラム表の単位数に○印のついた科目です。)

留学生は、教養教育科目分野から「日本事情1・2」、「日本の社会と文化1・2」および言語文化科目分野の日本語から「日本語読解1・2」、「日本語作文1・2」、「上級日本語読解1・2」、「上級日本語作文1・2」、計12科目16単位を必ず修得してください。

②**選択必修科目**(特定の科目群から指定された単位を修得します。)

言語文化科目分野から、英語4単位以上を含み8単位を修得してください。ただし、留学生は日本語8単位が必修なので、修得しなくてもかまいません。

③**選択科目**(必修・選択必修科目以外の中から自由に選んで修得します。)

①②以外に、12単位以上(留学生は4単位以上)を修得してください。なお、言語文化科目分野の選択必修の8単位を超えた単位は、選択科目の単位数に算入されます。

【専門教育科目】92単位以上

①**必修科目**(卒業するまでに必ず修得します。カリキュラム表の履修コース欄に○印のついた科目です。)

自動車工学コース39科目78単位、鉄道工学コース35科目67単位、交通機械コース33科目64単位を必ず修得してください。

②**選択科目**(必修科目以外の中から自由に選んで修得します。)

自動車工学コースは14単位以上、鉄道工学コースは25単位以上、交通機械コースは28単位以上を修得してください。

※自動車工学コースの学生に限り、「自動車工学実習1~4」を履修することができます。

※鉄道工学コースの学生に限り、「鉄道工学フィールドワーク」を履修することができます。

※交通機械コースの学生に限り、「交通機械論」を履修することができます。

実践教育科目と総合教育科目と専門教育科目の最低要件単位は合わせて116単位です。卒業要件124単位に不足する8単位については、実践・総合・専門各々の最低要件単位数を超えた単位で補ってください。

04. 卒業研究

(1) 卒業研究

卒業するためには、「卒業研究」（4年次配当科目）を修得しなければなりません。「卒業研究」を履修するためには、3年次修了までに履修資格を得ることが必要です。

「卒業研究」の履修についての質問や相談がある場合は、Web履修申請する前に教務課に相談してください。また、卒業予定者で、時間割上卒業要件単位数を満たす履修申請ができない場合も、教務課窓口で相談してください。

(2) 「卒業研究」の履修資格

「卒業研究」を履修するためには、次の2つの条件を満たさなければなりません。

- ①総合教育科目の最低要件のうちの16単位を含む卒業要件100単位以上を修得していること。
- ②専門必修科目の実験・実習および製図の未修得が2科目4単位以内であること。

—参考—（「卒業研究」履修資格を得るために必要な科目）

科目名	単位数	備考
機械製図	2	◎自動車工学コース 左記8科目18単位から、未修得が2科目以内で14単位以上を修得してください。 ◎鉄道工学コース・交通機械コース 左記4科目8単位から、4単位以上を修得してください。
交通機械基礎実習	2	
交通機械実験・実習1	2	
交通機械実験・実習2	2	
自動車工学実習1（自動車工学コースのみ）	4	
自動車工学実習2（自動車工学コースのみ）	4	
自動車工学実習3（自動車工学コースのみ）	1	
自動車工学実習4（自動車工学コースのみ）	1	

05. 卒業見込証明書

「卒業研究」の履修資格を得た学生は、同時に卒業予定者となり、4年次になった4月から卒業見込証明書の交付を受けることができます。

※卒業見込証明書は、就職活動のために訪れる企業などに提出するものです。必要な人は、証明書自動発行機（本館1階、クリスタルテラス）を利用してください。

06. 資格取得

学科によって、卒業または特定の科目を修得することを条件に資格や免許の取得で優遇されるものがあります。以下の一覧表を参考に履修コースや履修科目を選択してください。

(1) 教員免許状

免許(資格)の種類	対象学科	取得の要件
高等学校教諭一種免許状(工業)	工学部全学科	それぞれの免許に定められた教職教科専門科目と教職専門科目の修得(詳細は教職ガイダンスで説明します。)
高等学校教諭一種免許状(情報)	電子情報通信工学科	
高等学校教諭一種免許状(数学)		
中学校教諭一種免許状(数学)		

(2) 学科あるいは特定科目の修得によって認定される資格

資格の種類	認定の内容	対象学科・コース	取得の要件
二級ガソリン自動車整備士	受験資格 ※実技試験免除	交通機械工学科の 自動車工学コース	特定科目の修得および卒業 ※卒業年次10~3月実施の 「整備技術講習」修了で 実技試験免除
二級ジーゼル自動車整備士			
一級建築士	受験資格	都市創造工学科の 総合・構造・環境コース	特定科目の修得および卒業後の 実務経験(2~4年)
二級・木造建築士		都市創造工学科	特定科目の修得および卒業後の 実務経験(0~2年)
測量士補	申請による 資格取得	都市創造工学科	「測量学1」、「測量学実習」の 修得および卒業 ※実務経験により測量士の 資格取得可
電気通信主任技術者 〔伝送交換主任 線路主任〕	受験科目 一部免除	電子情報通信工学科	特定科目の修得
電気通信の工事担任者			特定科目の修得および卒業
第一級陸上特殊無線技士	申請による 資格取得	電子情報通信工学科	特定科目の修得および卒業
第二級海上特殊無線技士			
社会福祉主事	任用資格	全学科	特定科目の修得および卒業
社会保険労務士	受験資格	全学科	卒業要件に必要とする 62単位以上修得

(3) 本学で実施する資格試験

資格の種類	対象学科	取得の要件・その他
日本商工会議所認定 簿記検定試験2・3・4級	全学科	試験合格(年3回実施されますが、 本学では6月と11月の年2回を学内で実施します。 申込方法は、掲示板でお知らせします。)
ガス溶接技能者	全学科	ガス溶接技能講習修了

07. 飛び級制度

飛び級制度とは、「学校教育法施行規則第70条第1項第4号」により導入された制度です。

大学院へ進む場合、大学を卒業してから大学院へ入学するのが一般的ですが、特に優秀な学生で、大学に3年以上在学し、かつ研究者として優れた資質を有する者に早期から大学院教育を実施する道をひらくのが飛び級制度です。

この制度を適用する場合、以下の「大学院学則」および「大学院学則の適用基準に関する工学研究科内規」に基づき実施されます。

この規程により大学院への入学資格を認められると、大学と大学院の両方に在籍することはできませんので、合格者はすみやかに在籍する大学の退学手続きをとり、大学院入学手続きをしてください。詳細についての問い合わせは、教務課に相談してください。

なお、種々の国家試験等の受験資格では、大学の学部卒業を要件としているものがあります。その場合は、不利となることを承知しておく必要があります。

参考

—飛び級入学資格—

平成18年4月以降に工学部に入学した学生が飛び級での大学院入学資格を得るためには、以下の条件を全て満たしてください。

- ① 本学工学部に1年次より在学
- ② 4年次配当の必修科目を除く卒業要件単位を全て修得、かつ124単位以上修得
- ③ 全修得科目の平均点が88点以上
- ④ 当該学科で推薦

08. カリキュラム

(1) 実践教育科目

(○は必修科目)

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数								備 考
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
実践教育科目	日本語とコミュニケーション1	1	4以上	2								(集中) 単位認定科目
	日本語とコミュニケーション2	1			2							
	キャリアプランニング	2				2						
	キャリアデザイン1	1					2					
	キャリアデザイン2	1						2				
	インターンシップ	2						2				
	実践特別科目	2							2			
大阪産業大学と社会	1		2									
小 計		11	4以上	4	2	2	2	4	2	0	0	

※週時間数欄の数字は、2＝週1コマ、4＝週2コマの授業があることを示します。1年次には1年次の、2年次には1、2年次の、3年次には1、2、3年次の、4年次には1、2、3、4年次の欄に数字のある科目を履修することができます。ただし、履修制限等により履修できない場合もあります。

(2) 総合教育科目

(単位数を○でかこんだものは必修科目)

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数				備 考															
				1年次		2年次			3年次		4年次												
				前 期	後 期	前 期	後 期		前 期	後 期	前 期	後 期											
総合教育科目	教養入門ゼミ	2	20 以上	2																			
	人文科学																						
	文 学	2			2																		
	哲 学	2			2																		
	論 理 学	2			2																		
	心 理 学	2			2																		
	社会思想史	2			2																		
	日本事情 1 ②				2																留学生向け科目		
	日本事情 2 ②				2																	留学生向け科目	
	社会科学																						
	日本国憲法	2			2																		
	現代の政治	2			2																		
	経済学の基礎	2			2																		
	近代史	2			2																		
	地 理 学	2			2																		
	日本の社会と文化 1 ②				2																	留学生向け科目	
	日本の社会と文化 2 ②				2																		留学生向け科目
	自然科学																						
	物質科学	2			2																		
	宇宙科学	2			2																		
環境科学	2		2																				
生命科学	2		2																				
現代数学入門	2		2																				
学際領域																							
平和学	2		2	(2)																			
時事問題	2		2																				
外国の社会と文化	2		2																				
倫理学(工業倫理含む)	2		2																				
科学技術史	2		2																				

注) 総合教育科目の履修要件

- イ 1年次配当の英語については、プレイスメントテストを実施し、その結果に基づいて、習熟度別にクラスを分ける。
ただし、英語の2年次および3年次配当科目については、この限りではない。
- ロ 英語は「4単位以上」必修であるが、この規定は留学生には適用しない。
- ハ 初修外国語(ドイツ語、フランス語、中国語)は複数の言語を卒業要件単位に算入することも可能とする。
ただし、各言語は、必ず「入門1」から履修しなければならない。
- ニ 留学生は、「日本事情1・2」、「日本の社会と文化1・2」の4科目8単位および日本語の8科目8単位を必修とする。
なお、留学生は、言語文化科目として母語を履修することはできない。
- ホ 留学生には英語のプレイスメントテストを実施しない。

(2) 専門教育科目

(各履修コースの○印は必修科目・一印はコースによって履修できない科目)

区分	科目	単 位	履修コース			卒業資格 最低単位数	週 時 間 数				備 考			
			自動車工学	鉄道工学	交通機械		1年次	2年次	3年次	4年次				
							前,後 期,期	前,後 期,期	前,後 期,期	前,後 期,期				
専 門 教 育 科 目	基礎数学および演習	3	○	○	○	自動車工学コース 必修78 選択14 以上合計92以上	鉄道工学コース 必修67 選択25 以上合計92以上	交通機械コース 必修64 選択28 以上合計92以上	4				二級自動車整備士科目	
	解析学	1	2	○	○					2				
	解析学	2	2								2			
	代数学	1	2	○	○						2			
	代数学	2	2								2			
	工業数学	2	2	○	○						2			
	工業数学演習	1	○	○	○						2			
	基礎物理学および演習	3	○	○	○					4				
	物理学	1	2	○	○						2			
	物理学	2	2								2			
	化学	2	2								2			
	工業力学	1	2	○	○					2				
	工業力学	2	2	○	○						2			
	工業力学演習	1	○	○	○						2			
	材料力学	1	2	○	○						2			
	材料力学演習	1	○	○	○						2			
	材料力学	2	2								2			
	機械動力学	2	○	○	○							2		
	機械製作法	2	○	○	○					2				
	C A D	2								2				
	C A D演習	1								2		2		
	機構学	2								2				
	機械製図	2	○	○	○						4			
	機械設計学	1	2	○	○						2			
	機械設計学	2	2									2		
	設計製図	2												4
	材料工学	1	2	○	○					2				
	材料工学	2	2								2			
	流体工学	1	2	○	○						2			
	流体工学演習	1	○	○	○						2			
流体工学	2	2						2						
熱工学	2	○	○	○			2							
熱工学演習	1	○	○	○			2							
伝熱工学	2							2						
電気工学	2	○	○	○			2							
カーエレクトロニクス	2							2						
電子工学	2							2						
情報基礎演習	1	○	○	○		2								
コンピュータプログラミング	2						2							
数値解析	2							2						
外国書講読	2	○	○	○				2						
交通機械基礎実習	2	○	○	○		6								
交通機械実験・実習	1	2	○	○				6						

区分	科目	単位	履修コース			卒業資格 最低単位数	週 時 間 数								備 考		
			自動車工学	鉄道工学	交通機械		1年次		2年次		3年次		4年次				
							前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
専 門 教 育 科 目	自動車構造論1	2	○				2									二級自動車整備士科目	
	自動車構造論2	2					2										
	自動車性能論	2	○							2						二級自動車整備士科目	
	自動車強度論	2	○							2						二級自動車整備士科目	
	自動車技術論	2	○							2						二級自動車整備士科目	
	自動車整備工学	2	○								2					二級自動車整備士科目	
	交通原動機学1	2	○						2							二級自動車整備士科目	
	交通原動機学2	2								2							
	自動二輪工学	2					2										
	鉄道車両	2		○	○				2								
	鉄道設計	2		○					2								
	高速鉄道	2		○								2					
	鉄道保守	2		○							2						
	鉄道機械	2		○								2					
	システム制御工学	2								2							
	交通システム工学	2			○							2					
	交通環境工学	2										2					
	交通機械空気力学	2										2					
	ピークルエネルギー工学	2			○							2					
	メカトロニクス	2										2					
	自動車運動力学	2										2				奇数年度開講	
	自動車人間工学	2										2				偶数年度開講	
	安全工学と工学倫理	2										2					
	振動工学	2										2					
	福祉機器	2										2				偶数年度開講	
	特殊輸送機械	2										2				奇数年度開講	
	車体設計論	2										2					
	船舶工学	2											2				
	航空工学	2											2				
	交通機械デザイン論	2											2				
交通機械論	2		—	—	○						2				交通機械コース限定科目		
自動車工学実習1	4	○	—	—			12								二級自動車整備士科目		
自動車工学実習2	4	○	—	—				12							二級自動車整備士科目		
自動車工学実習3	1	○	—	—						4					二級自動車整備士科目		
自動車工学実習4	1	○	—	—							4				二級自動車整備士科目		
交通機械実験・実習2	2	○	○	○							6				二級自動車整備士科目		
鉄道工学フィールドワーク	1	—	○	—								2			鉄道工学コース限定科目		
特別講義	2										2						
セミナー	2	○	○	○								2					
卒業研究	4	○	○	○									8	8			
小計	164				92以上		28	34	46	22	30	42	14	8			
実践教育科目、総合教育科目、専門教育科目 合計	279				124以上		70	80	76	52	42	52	14	8			

注) 専門教育科目の履修要件

イ 交通機械工学科においては、履修コースにより、自動車工学コース、鉄道工学コースおよび交通機械コースに分けるものとし、次による当該履修コースの卒業要件単位を満たさなければならない。ただし、自動車工学コースにあつては、別に定められた、国土交通省の定める二級自動車整備士の受験資格に必要な科目をすべて修得しなければならない。

(1) 自動車工学コース

必修科目78単位および選択科目14単位以上、合計92単位以上とする。

(2) 鉄道工学コース

必修科目67単位および選択科目25単位以上、合計92単位以上とする。

(3) 交通機械コース

必修科目64単位および選択科目28単位以上、合計92単位以上とする。

ロ 入学年度初めの履修申請時にコース選択を行う(鉄道工学コースは除く)。以後の履修コース変更は、申請に基づき、以下の通り行う。

(1) 自動車工学コースから鉄道工学コースへの変更は、審査を経て1年次から2年次への進級時に限り認める。

(2) 自動車工学コースから交通機械コースへの変更を認める。その時期は毎学年初めの履修申請時とする。

(3) 鉄道工学コースから交通機械コースへの変更に限り認める。その時期は毎学年初めの履修申請時とする。

(4) 鉄道工学コースから自動車工学コースへの変更は認めない。

(5) 交通機械コースから他のコースへの変更は認めない。

ハ 自動車工学コースの学生に限り、「自動車工学実習1」、「自動車工学実習2」、「自動車工学実習3」および「自動車工学実習4」を履修することができる。

ニ 鉄道工学コースの学生に限り、「鉄道工学フィールドワーク」を履修することができる。

ホ 交通機械コースの学生に限り、「交通機械論」を履修することができる。

ヘ 鉄道工学コースの学生で、履修コース変更前に修得した単位は、選択科目として卒業要件単位に算入することができる。

ト 交通機械コースの学生で、履修コース変更前に修得した単位は、選択科目として卒業要件単位に算入することができる。

チ 自動車工学コースの卒業者に限り、国土交通省の定める二級自動車整備士養成施設での課程を修了したものととして、『修了証明書』を発行する。

なお、鉄道工学コース、交通機械コースの卒業者には、上記の『修了証明書』を一切発行しない。

リ 備考欄の表示について

(1) 備考欄中の二級自動車整備士科目は、自動車工学コースにおける国土交通省の定める二級自動車整備士の受験資格科目。

(2) 備考欄中の偶数年度開講および奇数年度開講は、開講される年度を示し、原則として、隔年で開講される科目。

ヌ プレズメントテストについて

(1) 「基礎数学及び演習」、「基礎物理学及び演習」については、プレズメントテストを実施する。

(2) 「化学」を履修する者は、年次に関係なく当該年度に実施されるプレズメントテストをあらかじめ受験すること。

【資格取得に係わる科目】

二級自動車整備士(交通機械工学科 自動車工学コース)

二級自動車整備士の受験資格を得ようとする者は、国土交通省の定めるところにより、次の科目をすべて修得しなければならない。

授 業 科 目	単 位	単 位 数 最 低 修 得	週 時 間 数				備 考
			1年次	2年次	3年次	4年次	
			前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期	
工 業 数 学	2		2				○
工 業 力 学 1	2	2					○
材 料 力 学 1	2		2				○
機 械 動 力 学	2		2				○
機 械 製 作 法	2	2					○
機 械 製 図	2		4				○
材 料 工 学 1	2	2					○
流 体 工 学 1	2		2				○
熱 工 学	2		2				○
電 気 工 学	2		2				○
交 通 機 械 基 礎 実 習	2	6					○
交 通 機 械 実 験 ・ 実 習 1	2		6				○
自 動 車 構 造 論 1	2	2					○
工 業 力 学 2	2		2				○
交 通 原 動 機 学 1	2		2				○
自 動 車 性 能 論	2			2			○
自 動 車 強 度 論	2			2			○
自 動 車 技 術 論	2			2			○
自 動 車 整 備 工 学	2			2			○
自 動 車 工 学 実 習 1	4		12				○※
自 動 車 工 学 実 習 2	4		12				○※
自 動 車 工 学 実 習 3	1			4			○※
自 動 車 工 学 実 習 4	1			4			○※
交 通 機 械 実 験 ・ 実 習 2	2			6			○
合 計	50	50	14, 14	28, 8	16, 6	0, 0	

注)1.履修について

- (1)自動車工学コースの者に限り、二級自動車整備士の受験資格を取得することができるものとし、上記一覧に示す二級自動車整備士の受験資格に必要な科目をすべて修得し、当該コースの卒業要件単位を満たさなければならない。自動車工学コースを履修できる学年定員を1,2年次で各130名、3,4年次で編入生を加えて各140名とする。
 - (2)上記一覧表に示す二級自動車整備士の受験資格に係る各科目は、定められた「週時間数」を開講し、講義科目で14回(定期試験を含む)以上、交通機械基礎実習及び交通機械実験・実習1,2、自動車工学実習3,4、機械製図は13回以上、自動車工学実習1及び2は26回以上の授業を開講し、毎回出席を確認する。なお、講義科目で12回(定期試験を含む)以上、交通機械実験・実習1及び2、自動車工学実習3及び4、機械製図は11回以上、自動車工学実習1及び2は22回以上を出席しなければ、単位を修得することができない。
 - (3)上記一覧表に示す二級自動車整備士の受験資格に係る各科目の1の授業における遅刻及び早退はそれぞれ15分間以内とし、遅刻早退のいずれかでも15分間を超えた場合、欠席とする。1科目内での遅刻及び早退が3回をもって、1回の欠席とする。
 - (4)上記一覧表に示す二級自動車整備士の受験資格に係る各科目の補講について、担当教員の公的理由などにより休講となった場合、必ず、補講を実施する。なお、学生の欠欠や病欠などに伴う欠席について補講は実施しない。
- 2.自動車工学コースの卒業者に限り、国土交通省の定める二級自動車整備士養成施設での課程を修了した者として、「修了証明書」を発行する。
- 3.備考欄中の○印は、自動車工学コースの卒業要件単位に算入される科目。
- 4.備考欄中の※印は、自動車工学コース以外の者が、履修申請できない科目。

Chapter

02

STUDY PLAN-12G
編入生

01.入学区分	041
02.卒業要件単位数(外国人留学生も共通)	042
03.卒業研究	045
04.卒業見込証明書	045
05.カリキュラム	046

01. 入学区分

編入生は、入学区分(資格)がイ、ロの2つに分かれます。個人別区分は交通機械工学科において審査・認定されます。

区 分	該 当 者
イ	学則第13条第2項第1、2、4および5号の何れかに該当し、かつ、出身学科が交通機械工学科または機械工学科に相当する者もしくは本学において同等以上の学力があると認められた者
ロ	学則第13条第2項第3号に該当する者もしくは本学において同等以上の学力があると認められた者

学則第13条第2項

- (1)大学院を修了した者または大学を卒業した者
- (2)短期大学を卒業した者または高等専門学校を卒業した者
- (3)専修学校の専門課程(修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総時間数が1,700時間以上)を修了した者
- (4)大学に2年以上在学し、62単位以上(卒業要件に算入されるもの)を修得した者
- (5)外国において本邦の高等教育課程と同等の課程を修了した者
- (6)本大学が指定する外国の高等教育機関において、前第4号に定める者と同等の資格を取得したと認定された者

コース制について

- ・初年度履修申請時に、自動車工学コース(整備士コース)または交通機械コースを選択します。
- ・自動車工学コースから交通機械コースへのコース変更については、4年次の履修申請時までは認められます。その場合、自動車工学コースで修得した単位は、選択科目として卒業要件単位に入ります。それ以降の変更は認められません。
- ・交通機械コースから自動車工学コースへの変更は認められません。
- ・「自動車工学実習1・2・3・4」は自動車工学コースのみ、「高速鉄道」は交通機械コースのみ履修することができます。

02. 卒業要件単位数(外国人留学生も共通)

(1) 卒業要件単位

編入生の卒業要件単位数は、次のとおりです。入学区分(イ、ロ)により異なりますので間違わないよう注意してください。

<区分イ>学則第13条第2項第1、2、4および5号の何れかに該当し、かつ、出身学科が交通機械工学科または機械工学科に相当する者もしくは本学において同等以上の学力があると認められた者

総合教育 科目	言語文化科目	英語	(留学生に限る)	2単位	62単位	学士(工学)
		日本語				
専門教育 科目	自動車工学コース					
	必修科目		56単位			
	選択科目(自由科目及び実践教育科目の4単位含む)		4単位			
	交通機械コース					
必修科目		23単位				
選択科目(自由科目及び実践教育科目の4単位含む)		37単位				
2年以上在学						

—自動車工学コース—

【総合教育科目】言語文化科目分野の英語科目群から2単位を修得してください。留学生は、英語の代わりに日本語科目群から修得してもかまいません。それ以外は修得しても卒業要件単位に入りません。

【専門教育科目】60単位

- ①必修科目:「セミナー」2単位、「卒業研究」4単位、およびカリキュラム表の備考欄に定める二級自動車整備士科目24科目50単位、計56単位を必ず修得してください。
- ②選択科目:①以外に4単位を修得してください。

—交通機械コース—

【総合教育科目】言語文化科目分野の英語科目群から2単位を修得してください。留学生は、英語の代わりに日本語科目群から修得してもかまいません。それ以外は修得しても卒業要件単位に入りません。

【専門教育科目】60単位

- ①必修科目:「基礎数学および演習」、「基礎物理学および演習」、「機械動力学」、「機械設計学1」、「工業力学演習」、「外国書講読」、「交通機械実験・実習2」、「高速鉄道」、「セミナー」および「卒業研究」の10科目23単位を必ず修得してください。
- ②選択科目:①以外に37単位を修得してください。

※「基礎数学および演習」、「基礎物理学および演習」については、プレイスメントテストを実施します。英語については、プレイスメントテストを実施しません。

<区分口>学則第13条第2項第3号に該当する者もしくは本学において同等以上の学力があると認められた者

総合教育 科 目	言語文化科目	英 語	} 2単位 (留学生に限る)	74単位	学士(工学)
		日本語			
専門教育 科 目	自動車工学コース				
	必修科目	60単位			
	選択科目(自由科目及び実践教育科目の4単位含む)		12単位		
	交通機械コース				
	必修科目	42単位			
	選択科目(自由科目及び実践教育科目の4単位含む)		30単位		
2 年 以 上 在 学					

—自動車工学コース—

【総合教育科目】言語文化科目分野の英語科目群から2単位を修得してください。留学生は、英語の代わりに日本語科目群から修得してもかまいません。それ以外は修得しても卒業要件単位に入りません。

【専門教育科目】72単位

- ①必修科目:「工業力学演習」、「材料力学演習」、「流体工学演習」、「熱工学演習」、「セミナー」、「卒業研究」およびカリキュラム表の備考欄に定める二級自動車整備士科目24科目50単位、計60単位を必ず修得してください。
- ②選択科目:①以外に12単位を修得してください。

—交通機械コース—

【総合教育科目】言語文化科目分野の英語科目群から2単位を修得してください。留学生は、英語の代わりに日本語科目群から修得してもかまいません。それ以外は修得しても卒業要件単位に入りません。

【専門教育科目】72単位

- ①必修科目:「基礎数学および演習」、「基礎物理学および演習」、「工業力学1」、「工業力学演習」、「材料力学1」、「材料力学演習」、「機械動力学」、「材料工学1」、「機械設計学1」、「機械製図」、「流体工学1」、「流体工学演習」、「熱工学」、「熱工学演習」、「電気工学」、「外国書講読」、「交通機械実験・実習1」、「交通機械実験・実習2」、「高速鉄道」、「セミナー」および「卒業研究」の21科目42単位を必ず修得してください。
- ②選択科目:①以外に30単位を修得してください。

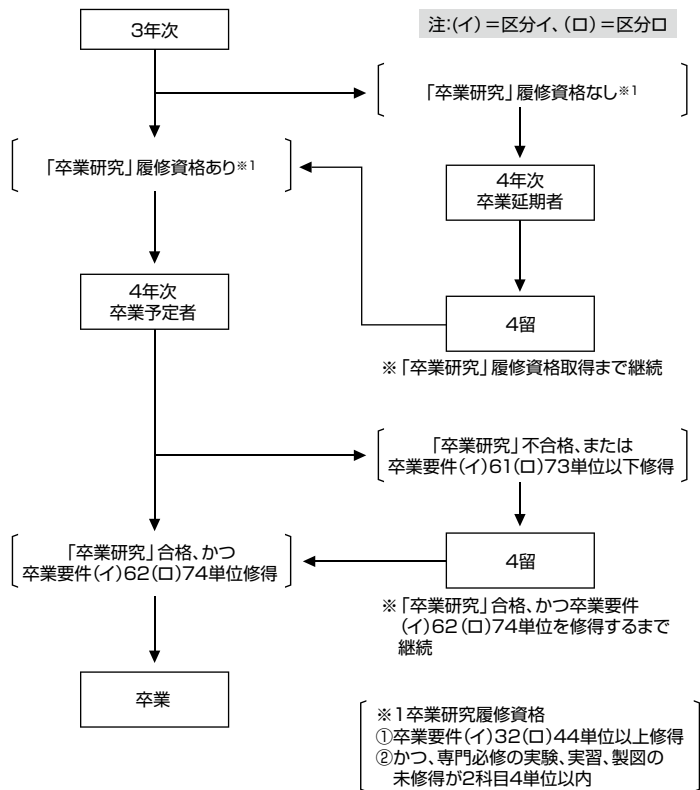
※「基礎数学および演習」、「基礎物理学および演習」については、プレイメントテストを実施します。英語については、プレイメントテストを実施しません。

(2) 進級の条件

編入生は、1年間に最大54単位まで履修申請できます。修得単位数にかかわらず、4年次まで進級できますが、3年次修了時点で卒業研究履修資格の条件を満たしていなければ、2年間で卒業できなくなります。

また、進級するためには、1年を通じて在学していなければなりません。

—進級および卒業までの流れ—



03. 卒業研究

(1) 卒業研究

卒業するためには、「卒業研究」(4年次配当科目)を修得しなければなりません。「卒業研究」を履修するためには、3年次修了までに履修資格を得ることが必要です。

「卒業研究」の履修についての質問や相談がある場合は、Web履修申請する前に教務課に相談してください。また、卒業予定者で、時間割上卒業要件単位数を満たす履修申請ができない場合も、教務課窓口で相談してください。

(2) 「卒業研究」の履修資格

「卒業研究」を履修するためには、次の2つの条件を満たさなければなりません。

①入学区分によって以下の卒業要件単位を修得していること。

区分イ:32単位以上

区分ロ:44単位以上

②専門必修科目の実験、実習および製図の未修得が2科目4単位以内であること。

04. 卒業見込証明書

「卒業研究」の履修資格を得た学生は、同時に卒業予定者となり、4年次になった4月から卒業見込証明書の交付を受けることができます。

※卒業見込証明書は、就職活動のために訪れる企業などに提出するものです。必要な人は、証明書自動発行機(本館1階、クリスタルテラス)を利用してください。

05. カリキュラム

(1) 区分イ

■総合教育科目

(単位数を○でかこんだものは必修科目)

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数				備 考		
				1年次	2年次	3年次	4年次			
				前 期	後 期	前 期	後 期		前 期	後 期
総合教育科目	英語	英語(Listening&Speaking) 1	1	2	2				(集中) 留学生向け科目 留学生向け科目 留学生向け科目 留学生向け科目 留学生向け科目 留学生向け科目 留学生向け科目	
		英語(Listening&Speaking) 2	1		2					
		英語(Listening&Speaking) 3	1			2				
		英語(Listening&Speaking) 4	1			2				
		TOEIC上級(Listening) 1	1			2				
		TOEIC上級(Listening) 2	1			2				
		英語(Reading&Writing) 1	1		2					
		英語(Reading&Writing) 2	1		2					
		英語(Reading&Writing) 3	1			2				
		英語(Reading&Writing) 4	1			2				
	日本語	TOEIC上級(Reading) 1	1			2				
		TOEIC上級(Reading) 2	1			2				
		英語総合(上級) 1	1				2			
		英語総合(上級) 2	1				2			
		英語海外研修	2			2	2			
		日本語読解 1	1		2					
		日本語読解 2	1		2					
		日本語作文 1	1		2					
		日本語作文 2	1		2					
		上級日本語読解 1	1			2				
上級日本語読解 2	1		2							
上級日本語作文 1	1		2							
上級日本語作文 2	1		2							
小 計		2								

区分	科目	単位	履修コース		最低卒業資格数	週時間数								備考				
			自動車工学	交通機械		1年次		2年次		3年次		4年次						
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
専門教育科目	自動車構造論 1	2	○		(自動車工学コース 交通機械コース 必修 選択 選択 以上 以上 合計 合計 以上 以上)	2										二級自動車整備士科目		
	自動車構造論 2	2					2										二級自動車整備士科目	
	自動車性能論	2	○							2							二級自動車整備士科目	
	自動車強度論	2	○							2							二級自動車整備士科目	
	自動車技術論	2	○							2							二級自動車整備士科目	
	自動車整備工学	2	○								2						二級自動車整備士科目	
	交通原動機学 1	2	○						2								二級自動車整備士科目	
	交通原動機学 2	2								2								
	自動二輪工学	2						2										
	鉄道工学1	2								2								
	鉄道工学2	2									2							
	高速鉄道	2	-	○								2						交通機械コース限定科目
	システム制御工学	2					56	23			2							
	交通システム工学	2											2					
	交通環境工学	2											2					
	交通機械空気力学	2											2					
	ビークルエネルギー工学	2											2					
	メカトロニクス	2										2						
	自動車運動力学	2					4	37					2					奇数年度開講
	自動車人間工学	2											2					偶数年度開講
	安全工学と工学倫理	2											2					
	振動工学	2											2					
	福祉機器	2											2					奇数年度開講
	特殊輸送機械	2											2					偶数年度開講
	車体設計論	2											2					
	船舶工学	2												2				
	航空工学	2					60	60						2				
交通機械デザイン論	2											2						
自動車工学実習 1	4	○	-				12									二級自動車整備士科目		
自動車工学実習 2	4	○	-					12								二級自動車整備士科目		
自動車工学実習 3	1	○	-						4							二級自動車整備士科目		
自動車工学実習 4	1	○	-							4						二級自動車整備士科目		
交通機械実験・実習2	2	○	○							6						二級自動車整備士科目		
特別講義	2									2								
セミナー	2	○	○								2							
卒業研究	4	○	○									8	8					
小計	157				60以上		26	34	44	20	32	38	14	8				
実践教育科目、総合教育科目、専門教育科目	255				62以上		64	78	66	44	40	42	14	8				

注) 専門教育科目の履修要件

- イ 交通機械工学科においては、履修コースにより、自動車工学コースおよび交通機械コースに分けるものとし、次による当該履修コースの卒業要件単位を満たさなければならない。ただし、自動車工学コースにあつては、別に定められた、国土交通省の定める二級自動車整備士の受験資格に必要な科目をすべて修得しなければならない。
- (1) 自動車工学コース(当該履修コースの学年定員を1、2年次で各130名、3、4年次で編入生を加えて、各140名とする。)
必修科目56単位および選択科目4単位以上、合計60単位以上とする。
- (2) 交通機械コース
必修科目23単位および選択科目37単位以上、合計60単位以上とする。
- ロ 履修コースの、変更等については次による。
- (1) 自動車工学コースから交通機械コースへの変更は申請により認めるものとし、変更時期は4年次までの毎学年初めの履修申請時とする。
- (2) 交通機械コースから自動車工学コースへの変更は、一切認められない。
- ハ 自動車工学コースの者に限り、「自動車工学実習1」、「自動車工学実習2」、「自動車工学実習3」および「自動車工学実習4」を履修することができる。
なお、交通機械コースの者で、履修コース変更前に修得した単位は、選択科目として、卒業要件単位数に算入することができる。
- ニ 交通機械コースの者に限り、「高速鉄道」を履修することができる。
- ホ 自動車工学コースの卒業者に限り、国土交通省の定める二級自動車整備士養成施設での課程を修了したものと、「修了証明書」を発行する。
なお、交通機械コースの卒業者には、上記の『修了証明書』を一切発行しない。
- ヘ 備考欄の表示について
- (1) 備考欄中の二級自動車整備士科目は、自動車工学コースにおける国土交通省の定める二級自動車整備士の受験資格科目。
- (2) 備考欄中の偶数年度開講および奇数年度開講は、開講される年度を示し、原則として、隔年で開講される科目。
- ト プレズメントテストについて
- (1) 「基礎数学及び演習」、「基礎物理学及び演習」については、プレズメントテストを実施する。
- (2) 「化学」を履修する者は、年次に関係なく当該年度に実施されるプレズメントテストをあらかじめ受験すること。

自動車工学コースの学生へ

- (1) 国土交通省の定める二級自動車整備士の受験資格に必要な科目のうち、講義科目は半期14回(定期試験を含む。)以上、実験、実習および製図科目は13回(定期試験を実施しない。)以上の授業を行うものとし、毎回出欠の確認を行う。
なお、講義科目で12回(定期試験を含む)以上、交通機械実験・実習1及び2、自動車工学実習3及び4、機械製図は11回以上、自動車工学実習1及び2は、22回以上を出席しなければ、単位を修得することができない。
- (2) 上記一覧表に示す二級自動車整備士の受験資格に係る各科目の1の授業における遅刻及び早退はそれぞれ15分間以内とし、遅刻早退のいずれかでも15分間を超えた場合、欠席とする。1科目以内の遅刻及び早退が3回をもって、1回の欠席とする。
- (3) 上記一覧表に示す二級自動車整備士の受験資格に係る各科目の補講について、担当教員の公的理由などにより休講となった場合、必ず、補講を実施する。なお、学生の欠欠や病気などに伴う欠席について補講は実施しない。

※週時間数欄の数字は、2=週1コマ、4=週2コマの授業があることを示します。1年次は1年次の、2年次は1、2年次の、3年次は1、2、3年次の、4年次は1、2、3、4年次の欄に数字のある科目を履修することができます。ただし、履修制限等により履修できない場合もあります。

(2) 区分口

■総合教育科目

(単位数を○でかこんだものは必修科目)

区 分	科 目	単 位	最 低 単 位 数 卒 業 資 格	週 時 間 数				備 考					
				1年次	2年次	3年次	4年次						
				前 期 後 期	前 期 後 期	前 期 後 期	前 期 後 期						
総 合 教 育 科 目	英 語 文 化 科 目	英語(Listening&Speaking) 1	1	2	2					(集中) 留学生向け科目			
		英語(Listening&Speaking) 2	1			2							
		英語(Listening&Speaking) 3	1				2						
		英語(Listening&Speaking) 4	1					2					
		TOEIC上級(Listening) 1	1				2						
		TOEIC上級(Listening) 2	1					2					
		英語(Reading&Writing) 1	1			2							
		英語(Reading&Writing) 2	1				2						
		英語(Reading&Writing) 3	1					2					
		英語(Reading&Writing) 4	1						2				
		TOEIC上級(Reading) 1	1				2						
		TOEIC上級(Reading) 2	1					2					
		英語総合(上級) 1	1						2				
		英語総合(上級) 2	1								2		
	英語海外研修	2					2	2					
	日 本 語 科 目	日本語読解 1	1			2							留学生向け科目
		日本語読解 2	1				2						留学生向け科目
		日本語作文 1	1			2							留学生向け科目
		日本語作文 2	1				2						留学生向け科目
		上級日本語読解 1	1					2					留学生向け科目
上級日本語読解 2		1					2			留学生向け科目			
上級日本語作文 1		1				2				留学生向け科目			
上級日本語作文 2	1					2			留学生向け科目				
小 計			2										

区分	科目	単位	履修コース		最低卒業資格数	週時間数								備考					
			自動車工学	交通機械		1年次		2年次		3年次		4年次							
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
専門教育科目	自動車構造論 1	2	○		(自動車工学コース 交通機械コース 必修 60 42 ・選択 ・選択 12 30 以上 以上 ・合計 72 72 以上 以上)	2											二級自動車整備士科目		
	自動車構造論 2	2					2											二級自動車整備士科目	
	自動車性能論	2	○							2									二級自動車整備士科目
	自動車強度論	2	○							2									二級自動車整備士科目
	自動車技術論	2	○							2									二級自動車整備士科目
	自動車整備工学	2	○								2								二級自動車整備士科目
	交通原動機学 1	2	○							2									二級自動車整備士科目
	交通原動機学 2	2								2									二級自動車整備士科目
	自動二輪工学	2							2										
	鉄道工学1	2									2								
	鉄道工学2	2										2							
	高速鉄道	2	-	○									2						交通機械コース限定科目
	システム制御工学	2										2							
	交通システム工学	2											2						
	交通環境工学	2											2						
	交通機械空気力学	2											2						
	ビークルエネルギー工学	2											2						
	メカトロニクス	2										2							
	自動車運動力学	2					12	30					2						奇数年度開講
	自動車人間工学	2											2						偶数年度開講
	安全工学と工学倫理	2											2						
	振動工学	2											2						
	福祉機器	2											2						奇数年度開講
	特殊輸送機械	2											2						偶数年度開講
	車体設計論	2											2						
	船舶工学	2												2					
	航空工学	2					72	72						2					
交通機械デザイン論	2											2							
自動車工学実習 1	4	○	-				12										二級自動車整備士科目		
自動車工学実習 2	4	○	-					12									二級自動車整備士科目		
自動車工学実習 3	1	○	-							4							二級自動車整備士科目		
自動車工学実習 4	1	○	-								4						二級自動車整備士科目		
交通機械実験・実習2	2	○	○								6						二級自動車整備士科目		
特別講義	2										2								
セミナー	2	○	○									2							
卒業研究	4	○	○										8	8					
小計	157				72以上		26	34	44	20	32	38	14	8					
実践教育科目、総合教育科目、専門教育科目	255				74以上		64	78	66	44	40	42	14	8					

注) 専門教育科目の履修要件

- イ 交通機械工学科においては、履修コースにより、自動車工学コースおよび交通機械コースに分けるものとし、次による当該履修コースの卒業要件単位を満たさなければならない。ただし、自動車工学コースにあつては、別に定められた、国土交通省の定める二級自動車整備士の受験資格に必要な科目をすべて修得しなければならない。
- (1) 自動車工学コース(当該履修コースの学年定員を1、2年次で各130名、3、4年次で編入生を加えて、各140名とする。)
必修科目60単位および選択科目12単位、合計72単位とする。
- (2) 交通機械コース
必修科目42単位および選択科目30単位以上、合計72単位とする。
- ロ 履修コースの、変更等については次による。
- (1) 自動車工学コースから交通機械コースへの変更は申請により認めるものとし、変更時期は4年次までの毎学年始めの履修申請時とする。
- (2) 交通機械コースから自動車工学コースへの変更は、一切認められない。
- ハ 自動車工学コースの者に限り、「自動車工学実習1」、「自動車工学実習2」、「自動車工学実習3」および「自動車工学実習4」を履修することができる。
なお、交通機械コースの者で、履修コース変更前に修得した単位は、選択科目として、卒業要件単位数に算入することができる。
- ニ 交通機械コースの者に限り、「高速鉄道」を履修することができる。
- ホ 自動車工学コースの卒業者に限り、国土交通省の定める二級自動車整備士養成施設での課程を修了したのとして、「修了証明書」を発行する。
なお、交通機械コースの卒業者には、「修了証明書」を一切発行しない。
- ヘ 備考欄の表示について
- (1) 備考欄中の自動車整備士科目は、自動車工学コースにおける国土交通省の定める二級自動車整備士の受験資格科目
- (2) 備考欄中の偶数年度開講および奇数年度開講は、開講される年度を示し、原則として、隔年で開講される科目
- ト プレズメントテストについて
- (1) 「基礎数学および演習」、「基礎物理および演習」については、プレズメントテストを実施する。
- (2) 「化学」を履修する者は、年次に関係なく当該年度に実施されるプレズメントテストをあらかじめ受験すること。

自動車工学コースの学生へ

- (1) 国土交通省の定める二級自動車整備士の受験資格に必要な科目のうち、講義科目は半期14回(定期試験を含む。)以上、実験、実習および製図科目は13回(定期試験を実施しない。)以上の授業を行うものとし、毎回出欠の確認を行う。
なお、講義科目で12回(定期試験を含む)以上、交通機械実験・実習1及び2、自動車工学実習3及び4、機械製図は11回以上、自動車工学実習1及び2は、22回以上を出席しなければ、単位を修得することができない。
- (2) 上記一覧表に示す二級自動車整備士の受験資格に係る各科目の1の授業における遅刻及び早退はそれぞれ15分間以内とし、遅刻早退のいずれかでも15分間を超えた場合、欠席とする。1科目以内の遅刻及び早退が3回をもって、1回の欠席とする。
- (3) 上記一覧表に示す二級自動車整備士の受験資格に係る各科目の補講について、担当教員の公的理由などにより休講となった場合、必ず、補講を実施する。なお、学生の欠欠や病気などに伴う欠席について補講は実施しない。

※週時間数欄の数字は、2=週1コマ、4=週2コマの授業があることを示します。1年次は1年次の、2年次は1、2年次の、3年次は1、2、3年次の、4年次は1、2、3、4年次の欄に数字のある科目を履修することができます。ただし、履修制限等により履修できない場合もあります。